

地域再生プロジェクトの実施結果調書

市町村名

蘭越町

1 地域再生プロジェクト実施結果（プロジェクト全体）

（3年計画のうち 1年目）

実施主体	市町村名：蘭越町 民間団体名：		計	1市町村 団体
プロジェクト名：	蘭越町農業振興プロジェクト		格差の分野：地域経済の格差	
地域重点プロジェクトとの関連性	<input type="checkbox"/> 該当	◆地域重点プロジェクト名	◆主な取組	
	<input type="checkbox"/> 非該当	「食」の“しりべし”ブランド化の推進	○クリーン農業の推進など安全・安心を基礎とした「食」のブランド力の向上	
地域の課題及び地域再生プロジェクトの目標	<p>◆ 地域の課題</p> <p>本町で生産される、らんこし米は、食味の良さから全道的に高い評価を得ているが、道内外における産地間競争が激化する一方、米価の低迷や資材価格の高騰など、農業経営環境はますます厳しくなっている。また、米の消費低迷による畑作物の転換も定着しているが、高品質な作物のブランド化と安定生産による所得確保が求められている。</p> <p>◆ プロジェクトの目標</p> <p>近年、食の安心安全が消費者の注目を集めている中で、クリーンな農産物の需要が高まっている。食味で高い評価を得ている「らんこし米」とともに、町の振興作物として定着し、所得確保に重要な位置付けとなっている「メロン」、「トマト」の品質向上とブランド確立に向けて行政と生産者、生産団体が一体となって取り組む。</p>			
取組の成果	住民等の評価			
	町農業振興プロジェクト会議の開催概要について、町HPに掲載し、町民からの意見を募集している。			
	計画に対する達成度		交付金支援期間終了時の成果目標に対する現時点での達成状況	
具体的な効果		具体的な効果		
・米需要量情報算定に係る市町村別ランク区分 4ランク→5ランク		・米需要量情報算定に係る市町村別ランク区分 4ランク→5ランク		
・主な振興作物販売額		・主な振興作物販売額		
メロン 214,000千円→201,000千円 トマト 98,000千円→109,000千円		メロン 220,000千円→201,000千円、トマト 110,000千円→109,000千円		
プロジェクト推進上の課題・問題点	課題点等			
	町内農家の経営構造を総合的に検討する蘭越町農業振興プロジェクト会議では、本町農業の現状分析を進めながら、農業方策を検討しており、「循環型農業」や「クリーン農業」の推進により、町内農産物に付加価値を付けていくことが重要であるという意見が出されている。			
課題を踏まえた今後の展開				
本プロジェクトの推進に当っては、町や町農業委員会、ようてい農業協同組合、町水稻生産組合等関係機関と連携を図り、農事組合長会議や、各種会議での周知及び資料等で各農家に理解と普及を進める。らんこし米の品質向上、畑作・園芸作物の技術指導やイエスクリーン等作物の作付け拡大等を目指して農業技術指導員による農家への技術指導を着実に進める。農業振興プロジェクトや専門的な知見を有する立場から意見・助言農作物の品質向上及びブランドの確立を達成するためには農業技術指導員は必要不可欠な人材である。				

2 地域再生プロジェクト構成事業

(1) 実績額について

(単位：千円)

No	事業名 実施主体名	実施期間	年次	事業費	財 源 内 訳						交付金 要望額	
					国庫補 助金等	道補助 金 等	市町村補助等		市町村 自己財源	民間等 自己財源		その他
							補助金等	委託費				
1	農業振興プロジェク ト会議設置事業 蘭越町	2 1) 2 3	全 体 計 画	7 1 0					7 1 0			7 1 0
			初 年 度 (2 1)	2 1 0				2 1 0			2 1 0	
			2 年 度 目 (2 2)	2 5 0				2 5 0			2 5 0	
			3 年 度 目 (2 3)	2 5 0				2 5 0			2 5 0	
2	農業技術指導員の配 置 蘭越町	2 1) 2 2	全 体 計 画	12, 7 1 6					12, 7 1 6			10, 6 5 0
			初 年 度 (2 1)	6, 6 4 5				6, 6 4 5			6, 6 4 0	
			2 年 度 目 (2 2)	6, 0 7 1				6, 0 7 1			4, 0 1 0	
			3 年 度 目 (2 3)									
3	イエスクリーン米等 生産推進対策事業 蘭越町	2 1) 2 3	全 体 計 画	1, 2 0 7					1, 2 0 7			2 4 0
			初 年 度 (2 1)	2 0 7				2 0 7			4 0	
			2 年 度 目 (2 2)	5 0 0				5 0 0			1 0 0	
			3 年 度 目 (2 3)	5 0 0				5 0 0			1 0 0	
4	「らんこし米」新米 キャンペーン等 PR 事 業 蘭越町米麦改良協会 (公)	2 1) 2 3	全 体 計 画	3, 1 5 6			3, 0 0 0			1 5 6		3, 0 0 0
			初 年 度 (2 1)	1, 4 9 6			1, 4 0 0			9 6		1, 4 0 0
			2 年 度 目 (2 2)	8 3 0			8 0 0			3 0		8 0 0
			3 年 度 目 (2 3)	8 3 0			8 0 0			3 0		8 0 0
5	施肥体系転換土壌分 析推進事業 JA ようてい土づくり協議会	2 1) 2 3	全 体 計 画	6, 6 4 0	8 0 6				2, 9 1 8	2, 9 1 6		1, 2 0 0
			初 年 度 (2 1)	1, 7 2 6	8 0 6			4 6 0	4 6 0		0	
			2 年 度 目 (2 2)	2, 4 5 7				1, 2 2 9	1, 2 2 8		6 0 0	
			3 年 度 目 (2 3)	2, 4 5 7				1, 2 2 9	1, 2 2 8		6 0 0	
6	農業用廃プラスチック 適正処理奨励事業 蘭越町	2 1) 2 2	全 体 計 画	4 5 6					4 5 6			4 5 0
			初 年 度 (2 1)	2 1 2				2 1 2			2 1 0	
			2 年 度 目 (2 2)	2 4 4				2 4 4			2 4 0	
			3 年 度 目 (2 3)									
計	事業数 [6]		全 体 計 画	24, 8 8 5	8 0 6		3, 0 0 0		18, 0 0 7	3, 0 7 2		16, 2 5 0
			初 年 度 (2 1)	10, 4 9 6	8 0 6		1, 4 0 0		7, 7 3 4	5 5 6		8, 5 0 0
			2 年 度 目 (2 2)	10, 3 5 2			8 0 0		8, 2 9 4	1, 2 5 8		6, 0 0 0
			3 年 度 目 (2 3)	4, 0 3 7			8 0 0		1, 9 7 9	1, 2 5 8		1, 7 5 0

注 1 プロジェクトを構成する全事業の実績について記載すること。

2 「事業費」、「財源内訳」及び「交付金要望額」欄は実績額又は予定額を記載すること。

3 その他記載に当たっては、別記第2号様式に準じること。

(2) 実施内容について

No	事業名	計画内容	年次	実施状況	効果・課題	今後の展開
1	農業振興プロジェクト会議設置事業	町の農業経営戦略の位置付けをするため、現状分析と将来を見据えたビジョンを策定する。	初年度(H21)	振興作物に対する検証と新たな振興作物の選定	ミトマト・ピーマン・スイートコーンを新たな振興作物とし、作付拡大を図る。	農業後継者・新規就農者の確保等の対策の検討。
			2年度目()			
			3年度目()			
2	農業技術指導員の配置	らんこし米の品質向上、畑作・園芸作物の技術指導、イエスクリーン等作物の作付け拡大のため、町独自で技術指導員を確保することにより、町農業者の相談等に対し迅速な指導・アドバイスが可能となる。	初年度(H21)	農産物の生産技術指導等農業経営全般について普及指導を行う	迅速・的確な営農指導が実施できた。	普及センター等関係機関との連携強化。
			2年度目()			
			3年度目()			
3	イエスクリーン米等生産推進対策事業	食の安全・安心指向の高まりと、流通・販売面におけるクリーン農業の差別化に対応し、イエスクリーン米等に取り組む農業者に対して、温湯消毒機の購入経費の一部に助成。	初年度(H21)	事業目的に沿って温湯消毒機の導入に対し、費用の一部を助成(町内3戸)	イエスクリーン米作付面積の拡大が図られた。	導入台数の拡大を図る。
			2年度目()			
			3年度目()			
4	「らんこし米」新米キャンペーン等PR事業	らんこし米のブランドの確立を図ると共に札幌圏の消費者にらんこし米の食味の良さをアピールしらんこし米の販路拡大を図る。	初年度(H21)	手軽に持ち運びを可能とするため、らんこし米化粧袋(1Kg用)を新たに導入	らんこし米のPRに活用された。	PR活動を通じて、消費者ニーズを探り、販売戦略の構築
			2年度目()			
			3年度目()			
5	施肥体系転換土壌分析推進事業	化学肥料と堆肥コストを低減する施肥体系へ転換を推進するため、土壌診断による施肥設計見直しを推奨。	初年度(H21)	土壌診断経費の国費助成残の1/2を助成	土壌診断による施肥設計の見直しが図られた。	土壌診断による施肥設計見直しを推奨。
			2年度目()			
			3年度目()			
6	農業用廃プラスチック適正処理奨励事業	循環型農業の推進のため、農業用廃プラスチックの回収サイクル事業への引渡し等適正な処理を奨励するため経費の一部を助成。	初年度(H21)	処理費用の1/6を農家に対して助成	廃プラスチックの適正処理が図られた。	廃プラスチックの適正処理を推進。
			2年度目()			
			3年度目()			

注 1 (1)に記載した番号に対応する事業について、プロジェクトの期間を通じて、実施状況及び効果や課題を踏まえた今後の事業展開を記載すること。